



サンビオティック農業で大豊作!

たまねぎ (玉葱) 栽培基準



◆ 苗床 (育苗) ◆					
ステージ	内容	商品名	10a施用量・倍率	施用方法	備考
定植1~2か月前	土づくり	完熟堆肥 有機石灰、またはスラグ肥料 菌力アップ	1~2トン 100~200kg 5リットル×2回	土壌混和 土壌混和 全面散布	苗床の土壌pHは必ず計測し、pH6.5~7.0になるよう有機石灰または転炉スラグ肥料を振り、耕耘しておく。 堆肥は、植物質が多くC/N比(窒素炭素率)が15~25程度のものが望ましい。五穀堆肥を使用する場合は、50袋/10aを土壌混和する。堆肥散布後に菌力アップを散布し耕耘する。その後、2~3週間後に再度菌力アップを散布して耕耘。これにより、土壌微生物の繁殖を促し、団粒化した土づくりを行う。 薬剤で土壌消毒を行う場合は、ガス抜き後3日程度空けて、菌力アップを施用する。太陽熱消毒を行う場合は、被覆前に菌力アップ10Lを希釈して散布しておく。
播種前1か月~2週間	元肥	有機百倍 鈴成 硫酸マグネシウム	6~8袋 10袋 20kg	土壌混和	地力に応じて、または品種や播種時期に応じて、有機百倍の量を調整します。セルトレー育苗の場合は、育苗培土に鈴成を5%混和します。
播種~	発芽促進 生長促進	菌力アップ コーソゴールド	5リットル 3kg	100~200倍希釈 で灌水 7日おき 4回以上	菌力アップで、発根促進、健苗育成を促進します。チッソが足りない場合は、必要に応じて、糖力アップなどの液肥で生育を調整します。コーソゴールドで育苗時にリン酸を効かせることで、玉肥大が良くなります。 播種が早すぎたり、乾燥、高温、窒素切れは、トウ立ちになりやすいので十分注意する。

◆ 本圃 ◆					
時期	ステージ	商品名	10a施用量・倍率	施用方法	備考
10月	土づくり	完熟堆肥 有機石灰、またはスラグ肥料 菌力アップ	2~3トン 100~200kg 5リットル×2回	土壌混和 土壌混和 灌水(100倍)	育苗と同様に、土壌pHは必ず6.5~7.0に調整します。 家畜糞堆肥の多投(1t以上)は避け、植物質の多いものを使用します。良質な堆肥がない場合は、五穀堆肥50袋/10aを使用します。 前作で、べと病など病害が多発した圃場では、菌力アップを10リットル施用する。 水田の裏作では、排水性の整備が重要なため、額縁明渠や弾丸暗渠、高畝など、排水対策を行う。
	元肥	有機百倍、またはマッスルモンスター 鈴成 水酸化マグネシウム	(露地) (マルチ) 7~10袋 15袋 10袋 10袋 10kg 10kg	土壌混和	定植2週間前までに土壌混和する。水酸化マグネシウムは必要に応じて施用します。pHが7.0を超える圃場では、硫酸マグネシウム20kgを施用します。 追肥ができない作型(マルチ)では、遅効きのマッスルモンスターのほうが後半まで効くので良い。
11~12月	定植	菌力アップ 糖力アップ	5リットル 5kg	灌水(水1トン) 5~7日おきに4回 以上	活着までは菌力アップのみで灌水し、活着促進する。 菌力アップ、糖力アップの継続的灌水で、土壌団粒を維持し、発根状態の良い状態を継続することがポイント。 兼用管理機で散布する場合は、水300リットルに対して菌力アップ5L、特濃糖力アップ1kgを混和して、雨前に散布する。(農薬混用不可)
1~3月	追肥	有機百倍 硫酸カリ	(露地) 2~3袋×3回 5~8kg×3回	20~30日おきに 土壌散布、培土	露地では、有機百倍は、20日~30日おきに追肥する。1~2月の低温期に、葉の枚数、長さが不十分なときは、尿素500倍の葉面散布(展着剤加用)を実施する。 病害対策のため追肥は、できるだけ早めに終了する。遅くとも早生・中生は4月上旬まで、晩生は3月20日まで。成長が十分な場合、首が太い場合は、追肥はしない。 病害を予防するため、寒波や暴風の後には、銅剤などの殺菌剤を散布する。べと病等の罹病株は、早めに発見し、抜き取り処分する。
3~4月	生長促進 収量アップ	菌力アップ 糖力アップ 海王	5リットル 2kg 100g	灌水(水1トン) 10日おき2~3回	地上部生育の重要な時期は土壌を乾燥させないようにします。菌力アップ、糖力アップと海王で肥大期の根の活力を維持します。本気Ca(マジカル)1kgも追加すると、品質や耐病性も上がります。
3~4月	病害予防 病害対策	本気Ca(マジカル) マジ鉄 海王	1000倍 5000倍 5000倍	葉面散布 1週間おき 3下旬~4月	ポトリチス、べと病対策には、本気Ca、マジ鉄、海王を葉面散布します。展着剤を加用します。(農薬と混用できます。) 細胞壁を強化し、細胞壁を強化し、病害抵抗性を高めます。
水害・湿害発生時	応急対策	酸素供給材 菌力アップ	規定量 10リットル	灌水 灌水2回	大雨水害等により冠水した場合は、MOXなどの酸素供給材を速やかに灌水し、翌日菌力アップ10L(50倍希釈)で灌水する。3日後、再度菌力アップ10L(50倍希釈)を灌水する。

※秋まき体系です。地域、作型によって、時期が異なると思いますので、生育ステージで判断してください。

※できれば土壌診断を実施し、データに基づいて施肥設計を行うことをお勧めします。品種や土壌条件等によって、施肥量は加減してください。

※本圃10aあたりに必要な苗床の面積は、約60㎡です。上記の苗床の基準は、苗床10aあたりですから、×60/1000して計算してください。